



広島県支部会報



平成28年2月29日

第78号 南東部地区総会

日時 : 平成28年2月28日 13時～16時
場所 : 三原市館町 三原市ゆめきやりあセンター2階会議室
主催 : 日本防災士会広島県支部南東部地区
参加者 : 地区内防災士会員 31人

[挨拶、会員自己紹介]

- (1) 挨拶 : 岩崎地区長の挨拶で始まり、H27年度初めての地区総会であった。各市町では会員も増加し、市町の活動は向上している。H27年度の活動報告、情報や意見交換を参考として各市町の活動に活かして貰いたい。
- (2) 参加者自己紹介 : 会員相互の連携、情報交換に十分有効であった。

[南東部地区 H27 年度活動報告]

(1) 地区長報告 :

- ① 「県支部 H27 年度活動報告」として県支部主催の行事、活動は乏しかった。
- ② H28 年度南東部地区新体制について地区長より、新地区長（正副）、市町担当責任者の選出について説明が行われ了解された。
なお、呉市、江田島市の防災士は H27 年度までは南東部地区から連絡など行われていたが会員増、連絡不便などにより H28 年度より分離独立される。
- ③ H27 年度収支決算報告について状況説明が会計担当から行われた。なお、H28 年度から各市町単位で広島県支部会費徴収を行い地区長に連絡、納入する。
- ④ 県支部役員、地区長会議は 3 月 18 日広島市民交流プラザで開催。
- ⑤ 県支部総会は 4 月 10 日（13 時 30 分～）広島市東区民文化センターで開催。

(2) 「H27 年度市町活動報告」:

6 市町の活動報告が行われ、各市町の活動状況は参考となった。
主な活動内容は下記の通り :

① 尾道市防災士会

- ・ 防災士会の研修、スキルアップ活動 : 8 件
- ・ 防災士会に要請された防災訓練、防災講座、展示説明など : 20 件
- ・ 百島町防災訓練について報告（旗手防災士）:

H27年12月13日（日）8時50分～12時行われた。

大災害時に孤立する可能性ある百島で南海トラフ巨大地震を想定した防災ヘリコプターによる救助及び物資供給の訓練が行われた。特に百島ヘリポートは島民の理解と協力で建設され、周辺の整備が出来た事は島民の安全にとって意義深い。

②三原市防災士会

- ・防災士会の活動計画、研修など：3件
- ・三原市と防災士会との協働活動：出前講座29件
- ・地域、学校の要請による防災訓練、防災学習、展示説明など：5件
- ・市内の14団体による防災活動グループにも所属し、市内の防災行事に積極参加

③福山市防災士

- ・防災士の研修、スキルアップ活動：4件
- ・防災士への要請による講座、研修会、展示説明：17件
- ・吹矢防災士の活動方針は自分の地域で活動している事を基本として依頼地域の状況を調査して講演内容を作成すると助言

④府中市防災士

- ・H27年度は防災士3人で組織体制整わず低調、個人で活動している
- ・府中市の防災士体制はH28年度から進む

⑤世羅町防災士会

- ・防災士会は年2回程度打合せを行っている。また町の担当課や関係機関との定例会を月1回開催し、町全体の防災体制などに関する情報交換を行っている
- ・町内小学校での避難訓練には防災士会が支援するよう協議中
- ・災害時の炊飯ハイゼックスのバリエーションとしてレシピを作成した

[H28年度への要望・期待、意見!]

(1) 要望・期待：

- ・H27年度の県支部主催の活動、行事は低調であった。H28年度は活性化したい。
- ・防災士会県支部（県内6地区構成）の活動実施計画を期待する。
- ・広島県（危機管理監）は「広島土砂災害」を契機に県全域の防災、減災の促進を図っている。防災士会広島県支部と広島県との取り組みの協議を期待する。

(2) 意見：

- ・南東部地区の市町自治体の防災への取り組みは変革し、防災士の増加、協力・連携など全市町で向上している。H28年度は一層の防災啓発活動の推進を期待。
- ・また南東部地区の連携、情報交換、協力は今後も継続したい。

<参考> DVD「広島土砂災害記録」を観賞

総会終了後、参加者はDVDを見て、県内被災地の厳しい状況を再認識した。

<あしがき>

一昨年の「広島土砂災害」を契機に県内市町では防災意識は高まり、取り組みも向上している。大規模災害が予想される「南海トラフ巨大地震」への備えを県全域に促進するため、H28年度は広島県支部防災士として一層の啓発活動が期待される。

(広報 桑木光信)



南東部地区総会参加者の様子



全参加者の集合写真

終り